

# 安心ネットづくり促進協議会の取り組みについて

2020年6月10日

安心ネットづくり促進協議会



1億人のネット宣言  
もっとグッドネット

## 安心ネットづくり促進協議会の取り組み

- 安心協は普及啓発活動等に関する委員会・作業部会を設けて各課題の検討および啓発等を実施しているが、第三者の立場から議論を行っていただくインターネット環境整備に係る検討会（以下「安心協検討会」）も設けて保護者や青少年の利用者視点で課題の分析および評価を実施
- 本日は、下記の「**青少年のフィルタリング利用促進のための課題及び対策**」について、**委員会・作業部会および安心協検討会の意見を踏まえた取り組み状況を報告する**

「項目」および「内容」は総務省の取りまとめ資料（2019年8月）から抜粋

項目	内容	安心協の取り組み
2. フィルタリングを始めとするペアレンタルコントロールの必要性に係る認識の醸成	③ <b>ペアレンタルコントロールに係るサービス等の周知強化</b> ペアレンタルコントロールに係るサービスについて、低年齢層の保護者向けなども含め、広く周知を行うことが重要。	<b>ペアレンタルコントロールに関する調査</b> (啓発のための基礎的な調査)
3. フィルタリングサービスの使いやすさの向上	② <b>フィルタリングのカスタマイズに関して保護者の判断に役立つ情報の発信体制の構築</b> カスタマイズ機能により青少年に特定のSNSを利用させることについて、保護者の判断に資するSNSサイト・アプリの情報（保護対策、トラブル事例等を含む）の発信体制の構築	<b>保護者向け情報提供の強化</b> (新たなホームページ作成)

(参考) 安心協体制図および安心協検討会構成員 ※敬称略

※各作業部会、WG等の表示は省略

**安心ネットづくり促進協議会**

会長：新美 育文（明治大学名誉教授）

**普及啓発広報委員会**

委員長：中村 伊知哉  
（iU（情報経営イノベーション専門職大学）学長）  
副委員長：尾花 紀子  
（ネット教育アナリスト）

**調査研究委員会**

委員長：森 亮二（弁護士）

**インターネット環境整備に係る検討会**

座長：穴戸 常寿（東京大学大学院教授）  
曾我部 真裕（京都大学大学院教授）

安心協検討会 委員名	所 属
(共同座長) 穴戸 常寿	東京大学大学院教授（法学／憲法・情報法）
(共同座長) 曾我部 真裕	京都大学大学院教授（法学／憲法・情報法）
(副座長) 川島 芳昭	宇都宮大学准教授（学校教育学・教育工学）
石戸 奈々子	慶應義塾大大学院教授（メディアデザイン研究科）
柘植 寛	弁護士
柿沼 由佳	全国消費生活相談員協会 IT研究会
金田 淳	（一社）全国高等学校PTA連合会専務理事

- 1. パレンタルコントロールに関する調査**
2. 保護者向け情報提供の強化（新たなホームページ作成）
3. その他

## 調査の目的と調査方針

- **ペアレンタルコントロールの実態等を把握することで普及啓発活動の基礎知識を得ることを目的**とした保護者意識調査を安心協検討会の意見を踏まえて実施
- 調査は保護者がネット利用に関する課題等を「どのように認識」し、「どのように対処すべきと考えているのか」といった点を中心に行った
- 現在、**調査結果の分析等を実施中**だが、まとめ次第公表する予定

【調査イメージ】

### ペアレンタルコントロールの実態

子どもの学齢ごとに分類

小学校  
低学年

小学校  
高学年

中学生

高校生

各サービスの利用状況、課題認識の実態、トラブル防止対策の有無などを調査

インターネットの  
利用状況

ネット利用における  
課題の認識状況

ツール類の  
利用状況

## 調査結果の分析と今後の啓発

- 調査結果は分析途中ではあるが、**各家庭の状況（子どもの学齢等に応じた保護者の考え方など）からペアレンタルコントロールの特色がまとめられるものと想定**
- ペアレンタルコントロールの特色が明確であったときは、特に重要な時期や状況に保護者啓発を重点的取り組むことも考えられるため、こういった点も踏まえて分析を進めることとしたい
- 分析結果がまとまりしだい公表する共に、保護者向けホームページなどにおける**啓発資料**などへの反映を検討したい

### 【ペアレンタルコントロールに関する保護者意識 ※現時点の想定】

1. **子ども専用の機器を持つ前の段階**では、保護者や家族共用の機器を利用している場合であっても、子どものネット利用に関する心配度合いが比較的低い
2. **子ども専用機器を持った後の初期の段階**は、子どもの機器の利用状況やペアレンタルコントロールに関心が高い
3. **子ども専用機器を持ってある程度の期間が経った段階、または高校生になった段階**では、子どもの自主性に委ねる保護者が増える

## (参考) 調査の進め方

- 保護者調査はインタビューを実施して調査項目の洗い出しを行い、その後にアンケート（WEB）による方法を用いて定量的な把握を行った

### Step1 定性調査（グループインタビュー）

#### ペアレンタルコントロール 実態把握

スマホ・タブレットを持つ子どもに対する具体的な不安要素ときっかけ、家庭内での対策などをヒアリングすることで、実態を把握。



### Step2 定量調査（WEB）

#### 不安要素と対策・ ペアレンタルコントロールの 役割理解

STEP2では、STEP1で洗い出した仮説をもとに家庭内で行っている対策と効果を定量的に検証。ペアレンタルコントロールの役割変化を確認し、最も有効な時期を考察。



## (参考) 主な調査項目

### ■ 主な調査内容は以下のとおり

#### ■ 子供のスマホ・タブレット利用実態

- ・購入きっかけ
- ・利用開始時期
- ・利用内容

#### ■ ペアレンタルコントロールの実態と親の意識

- ・気になる不安要素
- ・フィルタリング利用状況
- ・ペアレンタルコントロールの有無
- ・具体的な対策方法
- ・SNSに対する意識



1. パレンタルコントロールに関する調査
- 2. 保護者向け情報提供の強化（新たなホームページ作成）**
3. その他

# 保護者向け情報提供の強化（新規ホームページ開設）

- 保護者がペアレンタルコントロールを意識し、各家庭の実態に即したルール作りやフィルタリング・ツール類を活用すること（カスタマイズすること）を目的とした**保護者向けホームページを2019年末に開設**
- ホームページは保護者の悩みについて解決案を示す過程で、**ペアレンタルコントロールの重要性、SNSに関する知識習得とツール類の利用を働きかけている**

## 【関係図】

1. 保護者の悩み（お悩み1～6）
2. 解決策の説明
3. 大切なことは（ペアレンタルコントロール）
4. 具体的な方法



## コンテンツに関する情報



ソーシャルメディア利用環境整備機構

## ツールに関する情報

ウーリーに学ぶ！あんしんフィルター



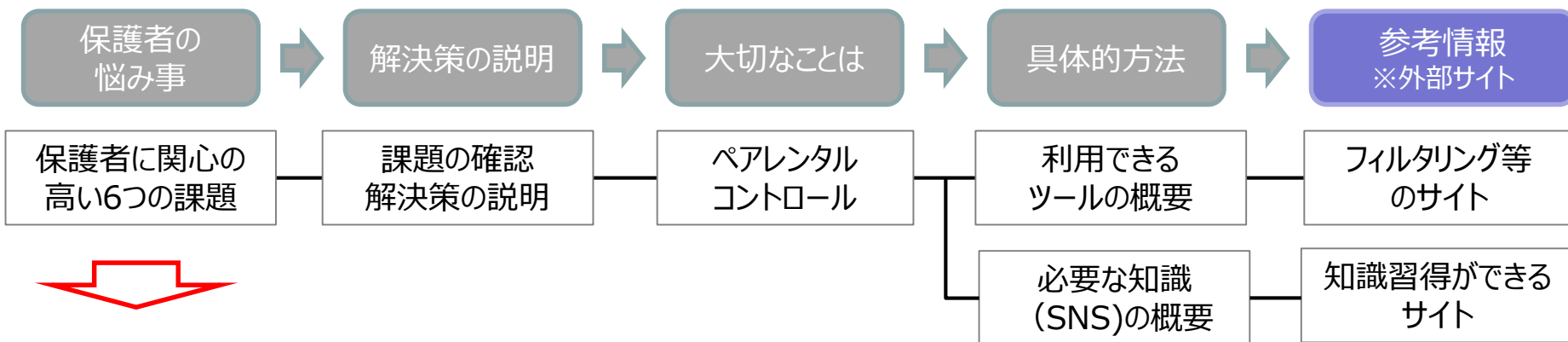
例：あんしんフィルター for au

## ホームページ開設における検討及び今後の進め方について

- ホームページの作成にあたっては、**普及啓発作業部会及びWGを開催し、関係者の意見を反映**すると共に、第三者委員で構成される安心協検討会の意見も踏まえて作成
- SNSに関する情報は、**ソーシャルメディア利用環境整備機構（以下「SMAJ」）が作成する情報を参考にするよう促すこととした**。なお、安心協検討会においてはSMAJが作成された情報がより良いものとなるような意見を取りまとめた
- フィルタリングなどのツールに関する情報は、**携帯電話各社、OS会社などが提供するサービス説明のページにリンクを行うことで、利用機器やキャリアごとに参照できるものとした**
- 今後は、ペアレンタルコントロールの調査分析結果に基づいて、より保護者が必要としている情報を掲載できるよう検討を継続したい

## (参考) ホームページの構成

- サイトトップで「保護者に関心の高い課題（悩み）」を提示することで内容の関心を高める構成
- フィルタリングサービス、SNSなどの詳細については各サービスサイトを参照するよう誘導



【画面イメージ】



- お悩み 1. いつもスマホをいじっている
- お悩み 2. 課金ゲームの請求が怖い
- お悩み 3. 有害情報を見ていないか不安
- お悩み 4. 体に悪い影響がでそう
- お悩み 5. 知らない人があなたの子どもを知っている
- お悩み 6. ネット犯罪にあわないか心配

# (参考) 作成サイト例 (1/2)

子どもとネットのトリセツ

子どものゲームやスマホの  
使い方で悩みの保護者の皆様へ

## 子どもと ネットの トリセツ

\*\*\*\*\*

こんなお悩み  
実は簡単に解決できます

気になるボタンをクリックしてください

TOP お悩み解決 ツール 大切なこと 新着情報

子どもとネットのトリセツ

### ツールを使おう

トップ / ツールを使おう

ツールを使って  
安心を手に入れよう



スマートフォンは画面の大きなパソコンなどとは違い、様々な場所において1人で利用する前提のもので、保護者が子どもの利用状況を気にするにしても限界があります。利用を制限する機能や確認するといったツールは、保護者の目が届かないところで保護者に代わってサポートする道具です。

TOP お悩み解決 ツール 大切なこと 新着情報

子どもとネットのトリセツ

### 大切なこと

トップ / 大切なこと

ベアコン＝「親子の意識」という名のハンドルをコントロールし、安心の道を進むこと



お子さんが初めて自転車に乗れたときのことを、覚えているでしょうか。最初はフラフラ危なっかしく運転していたものが、保護者のサポートを受けながらだんだんと乗れるようになっていきます。

TOP お悩み解決 ツール 大切なこと 新着情報

<https://www.kodomo-safety.org/>




# (参考) 作成サイト例 (2/2)

## 子どもとネットのトリセツ

### SNSについて学ぶ

トップ / SNSについて学ぶ

一口に「SNS」と言っても  
様々なサービスがあります  
それぞれ特徴がありますので、  
子どもが何をしたいのか  
知っておきましょう



あなたのお子さんは誰とつながっていますか？

SNSは、単に他人と連絡を取ることのできる手段ではありません。  
興味を持った内容や趣味、或いはゲームなどを通じて不特定の人

TOP お悩み解決 ツール 大切なこと 新着情報

リンク



## 青少年ネット利用環境整備協議会

協議会について 参加事業者 活動実績 お知らせ お問い合わせ

— 青少年の安心・安全なネット利用のために —  
青少年ネット利用環境整備協議会は、青少年が安心・安全にインターネットを利用できる環境の整備を活動の目的として、SNS等の運営などを行うネット事業者による取り組みを更に拡大・強化するために設立された団体です。

**【新着情報】**

2020.04.24 [SNS等の安心・安全な利用環境整備実現のため「一般社団法人ソーシャルメディア利用環境整備機構」を設立。](#)

2020.03.26 [協議会のホームページを開設しました。](#)

— 安心・安全な利用のために —  
青少年の安心・安全なネット利用のために参加事業者が運営するサービスの情報を提供しています。

Ameba Facebook GREE LINE

# (参考) HPのアクセス向上に向けて



## レイテイングを知っていますか?

"車を運転できるのは18歳になって免許を取ってから"はよく知られています。では、スマホは何歳から?"  
"えっ!"と思う人が多いのではないのでしょうか。  
スマホのアプリにもそれぞれ対象年齢が定められています。  
例えば、LINE・Instagram・TikTok・フォートナイトは  
いずれも12歳以上、Twitterは17歳以上です。  
対象年齢を守って安全なスマホの  
利用に努めましょう。 \* いずれもiOSの場合

## キャッシュレスの世界

お正月、家族や親せきからポチ袋に入ったお年玉をもらった人も多いのでは。「はい、新入学おめでとう。小学生はこれね。」と祖父母からお祝いが入った袋をもらいます。中学校に入った私にはない?! あわてないで。「中学生はスマホを出して。」"チャリン"とスマホにお金が入ります。冗談に聞こえるかもしれませんが、中国ではスマホにお金を送ることが一般的になっているとか。そのうちに日本のお祝い事情も変わるかもしれませんね。

安心協ニュースを利用してホームページの利用促進を行った事例

種をまく季節です。春と聞くだけでころがうきうきとしませんか。  
「世の中は桜の花になりにけり」良寛  
※良寛：江戸時代の歌人

## 安心ネットづくり促進協議会からのお知らせ

今年も2月～5月まで官民協力して"春の一斉行動"が展開されます。安心協では以下を中心に取り組みでまいります。

- ① スマホカスタマイズ情報提供  
<https://www.kodomo-safety.org>
- ② ネットの安心安全
- ③ 有害サイトアクセス制限 (名探偵コナンの動画が見れます)  
<https://www.tca.or.jp/mobile/filtering.html?tab=2>

1. **ペアレンタルコントロールに関する調査**
2. **保護者向け情報提供の強化**（新たなホームページ作成）
3. **その他**



## 今後の予定

- 分析が完了した段階で安心協検討会を実施し啓発資料等への反映を行う
- 継続課題等が生じたときは、今後の進め方を安心協検討会等で議論する予定

